

心ふれあい SA吹田通信 219号

発行 SA吹田 ☎ 06-6388-3380 〒564-0004 吹田市原町3-7-2 小川忠夫 ogawatadaosasuita@yahoo.co.jp
 ホームページ <http://sa-renkyo.sakura.ne.jp/active/suita/index.html>
 プログ:心ふれあいSA吹田

おもちゃ学校吹田校 再開

緊急事態宣言下ワクチン接種済の 仲間が一堂に会し授業

新井 憲 記



コロナの緊急事態宣言がどうなるか心配しながらの
開校でした。検温、消毒、換気など万全の対策の中
再開することが出来ました。参加者も多く充実した
授業でした。

9月3日(金)に今年度4回目の学校を22名の出
席で開校しました。クラフト工作はタコ糸を上下す
る操作により紙管につけた輪ゴムを動力に、頭・手
足を付けた紙ボウルの亀さんが動くトコトコ亀さん
を歩かせて楽しみました。科学工作は木工のリニア
ゴマで、磁石の反発を利用することによりコマの位
置が決まると宙に浮き回転する面白い作品でした。
座学はおもちゃの基本シリーズの1回目としておも
ちゃ作りによく使う道具類について学びました。
10月も予定通り開催できることを願っています。

おもちゃ教室

B-4 教室

第6期生 ピノキオ

柏原正宏 記

コロナも怖い子ども達も何かしたい



9月4日(土)に、コロナ緊急事態宣言下であり、子どもたちの
感染が広がる中であつたが、医師と相談して、感染対策を万全にし
て実施することは可能であるということで教室再開に踏み切りました。
今回はおもちゃ学校二期生の「未来」の畑 貞造講師を迎え「走
れ!ザリガニくん」。講師のわかりやすい説明でスムーズにザリガニ
作りが出来ました。参加者の子ども達も中にはザリガニを捕まえて
遊んだこともある子どももおり、大いに盛り上がりました。作品は
ザリガニの手?と足 がリアルに面白く動き喜ばれました。

一年半以上続いているコロナによる活動の停滞は世間と同じように
大変苦しい時間を過ごしました。活動する我々の仲間もストレスが溜
まりましたが、子ども達のストレスも大変で保護者も何とかおもちゃ
作りの場に参加させてやりたいという気持ちがひしひし伝わってき
ました。今後も子ども達の期待に応えたいと思っています。

歌体操の活動

歌体操市民塾・H&Sグループ

加藤昌子 記

市民塾・H&Sは11月開催の北ブロック交流会参加の為の練習に励んでいます。



昨年からのコロナ感染拡大の為1年を通して毎月定例会をすることが出来ず、せっかく今まで練習を続けてきた方の中には退会を余儀なくされる方もあり人数も少しずつ減ってきています。でも今月に入り新しい方も入会されコロナがもう少し落ち着いたらお休みされている方も出て来られるのではと思っています。やはり出てこられ体を動かす・頭を使う・笑う・お喋りをする等お互いに刺激を頂き元気に過ごせるのではと思っています。

ボランティア養成継続講座

柏原律子 記

昨年と今年度もボランティア養成講座を社協と連携して受講者を募集しましたがコロナ感染拡大で応募者が少なく、また必要な講座数ができなかったため、今年と昨年度の受講者と合わせて、第8・9期ボランティア養成継続講座として開催しています。中断していたこの講座も久しぶりに再開できました。グループ名も「すずらん」に決まりました。月2回の練習会場も社会福祉会館から駅近くの山田未来館を主に使用できるようになりました。7名の参加者は初めて聞いた曲目はすぐに調べるなどとても熱心です。市民塾・H&Sと同じように練習できることが楽しくてしょうがないという様子がすごく伝わってきます。今後がとても楽しみです。



zoomで歌体操

加藤昌子 記



昨年コロナで緊急事態宣言が発出され活動がすべて中止になった時、zoomで歌体操をすることを考えて頂きました。最初はSA吹田歌体操部会の10人から始め、昨年の5月からは大阪府下で歌体操されている方々にも参加を呼びかけ、35名の方が画面に映し出され体操やお喋りを楽しみ繋がるようになってきました。コロナ対策を厳守しながら会場での歌体操も実施できるようになりましたが、それでも毎月2回zoomでの歌体操は継続しています。

福祉部 2年ぶりに活動再開 部会再編 新規発足

神保隆之・手塚之博 記

小学校の福祉教育の活動はコロナの影響をまともに受けて1年余りにわたって完全に活動が停止していました。福祉部会としても部会も開けず停止状態となりました。

8月には歌体操部会等からのメンバーを加え総勢13名で再開し活動を行っていくことになりました。まずは月一回、メンバーが顔を合わせて意見交換を行いながら新しい取り組みを模索していきたいと思います。

またSA吹田の会員を対象に福祉関連の知識を広く習得していただける研修会を計画しています。今年度中に「車椅子体験講習会」実施すべく、まずは福祉部会のメンバーを対象に吹田市社会福祉協議会の協力を得て勉強会を実施しました。

車椅子体験講習のための勉強会

手塚之博 記

9/16 南千里市民センターで勉強会を開催しました。

吹田市社会福祉協議会から3名のスタッフが来ていただき簡単な座学での説明のあと早速二人一組となって実技を



車椅子の開き方、ブレーキのかけ方
座り方など基本操作を学び



段差での操作なども教えていただきました。

今回は会議室内など限られたスペースでの実技になりメンバーからは実際に近い環境での体験希望も寄せられ勉強会第二弾も検討・調整することになりました。

会員の声

歌体操部会 歌体操の動作 藤川安高

歌体操の動作を考えるようになったのは12年前、大阪府レクリエーション協会のインストラクター講習をうけてレク・ビクス個人発表会で動作を作ったのがきっかけだった。毎回のイベントに使う「おたのしみ体操」の動作を考える事が楽しみである。この動作はこの曲に合うかなあ〜とか思いながらその動作を思い浮かべ歌詞の内容次第で動作をつなぎ合わせて仕上げる。閃きで浮かんだ動作をその部分だけ思いだそうとするが出てこないこともある。しかしコロナの自粛のなか認知予防、フレイルを防ぐために身体を動かしているのだ。面白く新しい自己満足の歌体操の動作を作り出し、頭・手・足を鍛えながら、笑いを含んだ歌体操を楽しんでいるこの頃です。

おもちゃ部会 未来 榊原 ちえ子

コロナ禍で大変な2年間、やっと始まった分散登校の中、子ども達は、どう過ごしているのか心配になります。我が家の双子の男の子達もTVを見たりゲームをしたり又、ダンボールや、空き箱等で、何やらおもちゃを作って遊んでいます。大人が思いつかないような物を作っては、宝物だと大事そうにしています。そんな時の子どもの目は、キラキラと輝いて嬉しそうにおもちゃの説明をしてくれます。私もおもちゃ教室が休みになり困ったなと思い、以前に作った作品を思い出しながら少しでも「ボケ防止」と楽しんでいます。一日も早いコロナ収束のもと、再開(おもちゃ作り)を待ち望むと共に元気な子ども達と「作って遊ぶ」おもちゃ作りを出来る日を楽しみに、日々頑張っている今日この頃です。

10月度予定

SA 吹田全般	時間	内容	担当	場所
10月8日	10:00~	役員会	小川忠夫	福社会館
10月29日	9:00~	印刷	熊田真也	福社会館
おもちゃ部会	時間	内容	担当	場所
10月6日	10:00~	定例会	元野 節	福社会館
10月11日	9:30~	ロボット研究会	長澤慎治	福社会館
10月12日	10:00~	おもちゃ学校	新井 憲	ゆめ未来館
10月7日	14:00~	おもちゃ研究会	畑 貞造	ゆめ未来館
10月20日	10:00~	リーダー会	新井 憲	福社会館
歌体操部会	時間	内容	担当	場所
10月18日	14:00~	定例会	柏原律子	ゆめ未来館
10月5・19日	10:00~	市民塾例会	加藤昌子	ゆめ未来館
10月12・26日	10:00~	H&S 例会	梅林泰子	内本町コミセン
10月5・19日	14:00~	合同ボランティア 養成講座「すずらん」	梅林泰子	ゆめ未来館
国際交流部会	時間	内容	担当	場所
10月19日	13:00~	定例会	手塚之博	Zoom
福祉部会	時間	内容	担当	場所
10月21日	13:00~	定例会	神保隆之	ラコルタ会議室2

編集後記

緊急事態宣言も9月末で解除の見通しとなりそうです。10月から活動が全面展開できることを心底から願っています。ワクチン接種ももうすぐ完全に行き渡りそうです。SA吹田もみんなで集まってわいわいがやがや! 出来たらバーベキューでも!。甘い?かな